

研究室紹介

保健・医療・福祉政策システム領域

国際地域栄養研究室

Global and Community Nutrition Laboratory

准教授 三好 美紀

連絡先:m_miyoshi@auhw.ac.jp



主な担当講義科目

□国際保健学

グローバルヘルスの観点から、地球環境、健康問題とそれらに対する効果的な対策に関して理解を深める、具体的には、世界における健康問題の現状と課題を学び、特に、開発途上国の健康・栄養格差とその要因を個人・世帯・地域・国・地球レベルでとらえ、同分野における国際協力の現状を理解することを目指します。

□保健・医療・福祉学研究特論

主な研究テーマ

□地域における栄養評価と食生活支援に関する研究

□栄養分野の国際協力人材確保に向けた検討

□途上国における国レベルの栄養調査を用いた非感染性疾患(NCDs)のモニタリング手法の検討(例:ベトナム、マレーシア、ラオス)

□栄養転換期にある途上国支援に関する研究

(例:パプアニューギニア、ラオス、ベトナム)

Miyoshi M, Hawap J, Nishi N, Yoshiike N. Nutritional Status of Children and their Mothers, and its Determinants in Urban Capital and Rural Highland in Papua New Guinea. *Journal of Nutrition and Health Sciences*. 1(4): 1-7: 2015.

石川みどり、三好美紀、草間かおる、水元芳、野末みほ、三浦宏子、吉池信男. 1990年代以降の国際機関の食・栄養政策、食事・栄養素等基準に関する動向. *国際保健医療*. 31(1): 13-22: 2016



ベトナム・ハノイ医科大学における栄養学部への教育支援



(PNG, 2011)

大学院進学を希望する方へひと言

平成30年度より開始した研究室です。

以下のようなテーマに興味がある方をお待ちしています！

- 地域における栄養評価と食生活支援に関する研究(国内、国外)
- 国際協力における栄養分野の政策・活動に関する研究



(ラオス, 2017)

プロフィール

大阪市立大学生活科学部食品栄養学科卒業、管理栄養士。神戸大学大学院国際協力研究科国際開発政策専攻修了、London School of Hygiene and Tropical Medicine 修了(1999年6月, M.Phil.)、青森県立保健大学大学院健康科学研究科博士後期課程修了(2015年3月, 博士(健康科学))

1999年8月より国立国際医療センター研究所流動研究員、JICA開発調査「セネガル国子どもの生活環境改善調査」短期専門家(保健・栄養)、東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻助手を経て2005年4月より独)国立健康・栄養研究所(現 医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所)にて勤務、特別研究員(~H19.12)、研究員(~H23.3)、室長(~H30.3)として国際栄養協力・連携事業を担当した。2018年4月より現職。学部の主な担当科目は公衆栄養学、地域栄養活動論、公衆栄養学実習、公衆栄養学臨地実習ほか